

2025年 第436回 6月議会

学校給食について
「ドリフト族」の暴走による騒音、
青少年への悪影響について
放課後児童健全育成事業について
美里小学校のグラウンドの一部について



特別支援教育の充実

教員の声

支援員さんが少なくて困っている

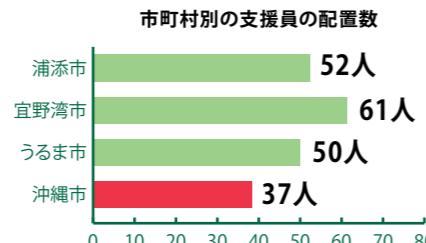


支援員さん(特別支援教育補助者)は、支援の必要な子ども達が通常クラスで落ち着いて授業が受けられるようサポートしてくれるよ



2025年 第438回 9月議会

ブックスタート事業
特別支援教育について



2025年 第439回 12月議会

学校給食について
市立小学校の儀式等における児童の服装について
学校徴収金及び消耗品について
放課後児童健全育成事業について



すべての赤ちゃんへ
読み聞かせ&絵本を届ける
ブックスタートの予算削減に疑問



ブックスタートは、絵本を通して親子の心の通い合いのきっかけを作り、絵本の魅力を知つてもらう子育て支援事業です。乳児健診会場で読み聞かせと絵本のプレゼントを受けた親子も多いのではないでしょうか。

そのブックスタートが今ピンチ!予算が大幅削減されてしまったのです。読み聞かせボランティアさんからは「来年度、どうなってしまうのだろう」と不安の声が寄せられています。

アンケート調査で99%の保護者が「受けてよかった」と継続を求める市民満足度が高い事業です。

私は、市長・教育長は子どもに関わる予算を削減する前に、現場に足を運んで赤ちゃんや保護者の反応を見て判断してほしいと訴えました。15年の歴史ある教育行政を後退させてはならないと考えます。

(9月議会)

市長、議員のボーナスアップに反対



2025年12月議会に市長はじめとする特別職5名と、市議会議員29名の賞与を値上げする議案が提案されたため、反対しました。今回の議案は国の人事院勧告に準じたものですが、勧告に強制力はありません。物価高騰が長引き県民の実質賃金は4年連続減少、高齢者の年金は目減りしている厳しい市民の現実に配慮し、ボーナスは据え置くべきと訴えました(賛成22反対6で可決)

議案第332号

1:48:18から審議スタート
みどり反対討論2:01:29から

学童クラブの待機児童解消

学童クラブを増やし、子どもたちを安心して預けられる環境、過ごせる児童館・公園を

母親の声

学童落ちた、
仕事どうしよう?

パートに切り替えた

やむをえず離職



学童に小学生を預けられない家庭では、保護者、特に女性がフルタイムの仕事を続けられなくて困るんですね

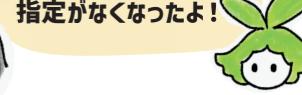
式服の指定をなくし選択肢を

～家計の負担軽減、子どもの多様性尊重～



宮里小学校では
2025年から式服の
指定がなくなったよ!

成長が早く、年に数回しか
着ない式服の買い替えが大変



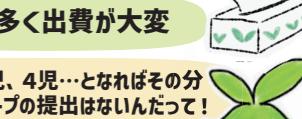
「学習指導要領で服装の決まりはありますか?」と質問したところ「服装の規定については示されておりません」と答弁。那覇市教育委員会では見直しを進めています。多様性尊重の観点からも選択可能にしたいと考え見解を尋ねると「各学校長の判断となりますが他市町村の取組状況について情報提供を行ってまいります」という答弁でした。(12月議会)

なぜ?ハンドソープやティッシュの保護者負担

保護者の声

ハンドソープを毎学期納める
しくみはなんとかならないですか?

兄弟が多く出費が大変



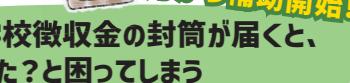
1人400円から500円の負担でも、2児、3児、4児…となればその分出費は膨らんでいます。読谷村ではハンドソープの提出はないんだって!

12月議会において、教育委員会に質問したところ、「学校で使用する衛生確保に直結する消耗品について、公費で貰うものと認識しており、予算確保に努めてまいります」と答弁がありました。

学校徴収金の負担軽減を

保護者の声

恩納村では
4月から補助開始!



学校徴収金の封筒が届くと、
また?と困ってしまう

市に負担軽減を求めたところ、就学困難な家庭には就学援助があるため「全児童生徒一律の教材費用の助成については検討しておりません」と答弁。恩納村では所得にかかわらず教材費の補助が2026年4月からスタート。その目的は、教育環境の魅力向上によって定住促進を図ることだそうです。沖縄市でも2022年から人口減少が始まっています。高齢者福祉を支えるためにも現役世代の定住は必須。人口減少対策の観点からも、子育て世代の負担軽減を求めてまいります。



学童クラブの運営支援

児童福祉事業である学童クラブの運営を支援することは行政の役割です。物価高騰や人件費高騰が続き、学童の運営も厳しさを増しています。うるま市など17市町村では燃料費を補助していますが沖縄市ではまだです。一刻も早く実施するよう議会で粘り強く要望しています。

また、事務負担の軽減のため育成支援体制強化や、障がい児の加配職員を通年で雇えるよう障がい児受入強化の改善を求めています。学童保育の質の向上のため、引き続き働きかけていきます。

学校徴収金の徴収管理

～学校から切り離し自治体で～

教員の声

徴収業務の
負担が大きい



先生が子ども達と向き合う時間を確保するために、
教員の業務負担軽減は待ったなし!

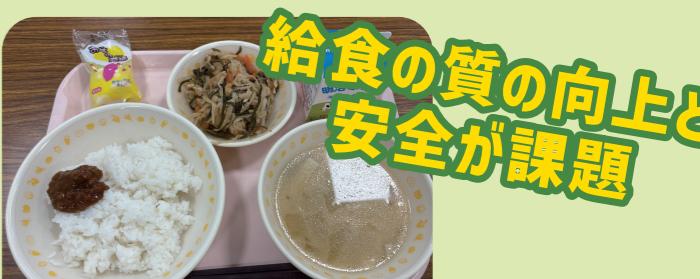
自指し議会において訴えています。

給食の質の向上と安全性確保

現在、給食の質の改善が大きな課題です。6月と12月議会においては給食の栄養充足率について取り上げました。6月に改善のための予算はつきましたが、国の栄養摂取基準に対し、カロリーベースでは小学生84.1%、中学生78.3%しか満たしていないことが分かりました(10月時点)。「給食の質をなんとかしてほしい」という声が多く寄せられています。栄養士さん達との意見交換会を2度行い、栄養価のデータ資料に基づいて議会質問を行ってきました。

市内給食センターにて給食の試食

また、昨年は異物混入事故や衛生事故が発生し、不安が広がりました。子ども達の命に関わる重大なことです。給食センターの事故防止対策について保護者の視点から意見を述べました。これからも、給食の質の向上と安全性の確保を訴えてまいります。



給食の質の向上と
安全性が課題